

Think Globally Act Locally (Vol.2)

ボランティアのすすめ

スポーツフェスティバルも無事終了し、皆さんも落ち着いた日々に戻ったでしょうか。さて、四月より折にふれお伝えしている「ボランティア」について何か考えることはあったでしょうか。そういえばそんなものがあったっけ？ボランティアと言っても何をすればいいのかな？などと考えている人たちのために、この「ボランティアのすすめ」は、様々な情報をお伝えしていきます。

ボランティアとは、一般市民の自由な意志に支えられた社会的な活動、あるいは各種民間団体の自主的な活動を言います（狭い意味では福祉活動に限定していますが）ですから、様々な地域活動、社会活動への参加もボランティアにはいるのです。そもそもボランティアというのはいつ頃から出現した考え方なのでしょう？それは、市民、大衆の自発的な行動を高く評価する思想に支えられており、近代社会が獲得してきた「個人の自由と独立」の精神そのものと言ってよいのです。言うなれば、ボランティアとは「自由と独立」というものを理解した近代人の活動なのです。

少し難しい話になりましたが、そんなに構えてしまう必要はありません。自分の意志でちょっと社会に関わってみようかな、そう思った瞬間にすでに一步を踏み出しているのです。ボランティアに携わっている人がこんなことを言っています。

「自分に厳しくしない。人のためと考えない。暇つぶしくらいに思っているのが一番いい。」

自分の可能性やチャンスが広がるかもしれない、何か新しい発見があるかもしれない、そんな気持ちで自分の住む社会と関わってみませんか。「ボランティアのすすめ」では、実際のボランティア活動の体験談や、地域社会（コミュニティー）活動の紹介なども併せて掲載していきたいと思います。皆さんのほうでも意見、体験談、紹介したい事柄などありましたら是非ご一報ください。

今回は、ニコラス・ギリヤ先生にご自分のボランティア体験を紹介していただきました。

Volunteerism

Nicholas Ghiglia

April 16, 2001

My brief history of experience with volunteerism in the United States has had a large impact on my life. In the following letter, I will outline these experiences and provide the information I have to Shibuya Kyoiku Gakuen and Mr. Tamura. Hopefully, the students will read this letter and understand what importance being a volunteer is.

As a high school senior, I was a teaching assistant with younger students. These students were enrolled in a learning skills class. One of the primary objectives of this course was to allow students to be involved in the community in a structured, cooperative manner. The students went to a home for the elderly and spent time with the residents. Talking, eating lunch, and playing cards was how the high schools students volunteered with these elderly folks. This was a positive and appreciated relationship between the students and older citizens alike.

The second experience I would like to share took place immediately before I entered college. I was new in the community and decided that volunteering would be a good way to acclimate myself to the new surroundings. So without hesitation I contacted the local library, community center, and transportation department. At the library, I spent many hours shelving and repairing books, helping disabled people and children who used the library facilities, and book organization. At the community center, I helped other volunteers cook and serve lunchtime meals to older citizens and homeless people and I did minor repair type duties such as painting and cabinetry. Finally, with the transportation department, I picked up litter along side the local roads and highways. While this sounds difficult and tiresome, I felt proud that I could lend a hand to help keep my new community clean.

The last, and certainly the most rewarding experience I have had with volunteerism happened when I was attending graduate school in Arizona. On campus, there was an agency that coordinated and organized volunteer help for the region. Various programs were involved: including Kindergarten, nursing home, homebound elderly, and fundraising. Many hours were spent assisting at nursing homes helping with patients, in schools mentoring children, and going on picnics and other functions in order

to give older citizens a chance to understand the younger generation. In the kindergarten program, my role was simple yet profound. I was seen as a role model for children. These youngsters and I quickly formed a bond and over the course of a few weeks I could visibly notice changes in them. The youth didn't see me as an authority figure, (which they often rebel against) but as someone they could emulate. So displaying respect, kindness, and maturity had a humbling influence on them.

I didn't consider this time as work, rather an opportunity to give back to the community in which so much has been given to me. The people with whom I volunteered were the most gracious and unselfish I have ever known. In fact, I often felt as though they were giving me something.

In closing, I feel that volunteerism is a chance for people old and young alike to join together and support their community through service and good will. The opportunities to serve are endless. This is in large part why I have chosen the noble path of teaching. Helping others has an immense and everlasting impact that influences and guides.

ボランティアについて

ニコラス・ギリア

私はアメリカにいた時に、そんなに長い間ではありませんでした。ボランティアの経験をしました。それは私の人生に大きな影響を与えました。今回のこの紙面を借りて、その経験の概要やボランティアについて私が知っていることを、渋谷教育学園の皆さんと田村校長先生にぜひ伝えたいと思います。これを読んだ生徒さんたちが、ボランティアというものがどれほど大切なものであるかを理解してくれることを強く願っています。

高校時代、私は後輩たちの授業に先生の助手として参加しました。そのクラスは learning skills class (学ぶ力を身に付けるコース) で、その目的のひとつは、学生たちが建設的かつ協力的に社会生活に溶け込んでいくことでした。彼らはボランティアで老人ホームに行き、そこに住んでいるお年寄りと過ごしました。具体的には一緒にしゃべりをしたり、昼食を食べたり、トランプをしたりしていました。このような活動を通して学生たちにとっても、その人生の先輩方にとっても前向きですばらしい人間関係が築かれていったのです。

次に、私がカレッジに入学する前に突然な行うことになったボランティア経験について話したいと思います。私はその地域社会で新参者でしたので、新しい環境に溶け込む方法として適切であると考え、ボランティア活動を行うことに決めました。実際、それによってなんのためらいもなしに、地域の図書館やコミュニティーセンターや州の交通課に通えるようになりました。図書館では長時間かけ

て柵の整理をしたり、本の修繕をしました。また、図書館を利用しに来た体の不自由な人たちや子供たちの手伝いや本の管理もしました。コミュニティーセンターでは、他のボランティアの人たちと共に、お年寄りやホームレスの人々に昼食を料理したり配ったりしました。またペンキ塗りや戸棚を直したりと、ちょっとした修理仕事もしました。最後に州の交通課に関するボランティアとしては、地元の道路やハイウェイ沿いのゴミ拾いをしました。こういった活動は、大変な退屈のように思えるかも知れませんが、私は自分の新しい地域社会をきれいに保つお手伝いが少しでもできたことに誇りを感じました。

さて、最後に私が経験した中で、きっと最も意義のあったボランティア活動について書きたいと思います。それは私がアメリカの大学院に通っていた時のことです。そこにはその地域のボランティアを組織運営する部署がありました。私たちは幼稚園、保育所、在宅のお年寄りの世話、募金等様々なお手伝いをしたり、学校では子供たちに助言を与えたり、相談に乗ったり、お年寄りたちに若い世代の人たちのことを理解してもらうために、ピクニックやその他いろいろなスポーツや文化的集まりに参加したりと、ボランティアに多くの時間を費やしました。幼稚園のプログラムでの私の役割は単純でしたが、意味深いものでした。私は子供たちのロールモデル（行動のお手本になる人）になったのです。幼稚園児たちと私はすぐに仲良くなり、三週間のコースが終わる頃には、目に見えて彼らは成長したのがわかりました。彼らは私を一人の権力者（＝反抗の対象）としてではなく、尊敬しマネをしようと思う人物として見てくれたのです。だからこそ人やものを大切にすること、親切心、成熟さを示すことによって彼らは謙虚な気持ちを持つようになるわけです。

私はボランティアを仕事としてではなく、非常に多くのものを私に与えてくれた地域社会に対する恩返しのチャンスとして考えたのです。私と一緒にボランティア活動をしていた人たちは、私が今まで出会った中で、最も上品で思いやりのある人たちでした。実際のところ、私はしばしばその人たちが私に何か大切なものを与えてくれていると感じていました。

私はボランティアとは、人々が年齢に関係なく一緒になれる機会であり、また自分にできることを前向きな気持ちで自ら進んで行うことによって、自分たちが住んでいる地域社会をより良いものにしていくひとつのチャンスであるとまとめることができます。人のために何かやろうと思ったら、自分にできることは無限にあります。私が教師という貴高い道を選ぶに至ったのは、こういったボランティア経験によるところが大きいです。他の人々を助けるという経験は、大きなインパクトとして若い人たちの心に永久に残り、影響を与え続け、その人生をよい方向へと導いていくでしょう。

2001.4.16

校門前の噴水の底（？）が綺麗になっていることに気づきましたか？実は、四期生の有志諸君が自ら掃除を申し出てくれたのです。また以前にボランティア部から紹介のあった白寿荘での活動に参加した生徒もいます。次回は、これらの活動をもう少し詳しく皆さんに紹介していきます。